

GOVERNOR'S MESSAGE

『会員増強及び拡大月間に寄せて』

なぜ会員数は減ってしまうのか



ガバナー 高山 孝

R Iは、会員増強より、退会防止に力を入れようと考えています。

2002 - 03年、日本と韓国が退会防止に関するアンケートを現在実施中です。

退会の理由、例会のあり方、奉仕活動のあり方、クラブの奉仕プロジェクト、クラブ会報、会費の状況、臨時会費、リーダーの適性といったチェックを行っています。

2000 - 01年に退会に関するアンケートがアメリカで実施されました。この結論として、R Iは2万名にアンケートし、回収率18%でした。ロータリークラブについて、退会会員は不満を持っていない。85%はむしろ好感を持っているとしています。

退会理由は、出席義務を果たせなかったこと。仕事上、転勤とか転居などのためにクラブに行けなくなったこと。そして、ロータリー以外に今、やりたいこと、興味あることがあって、一時的に退会せざるを得なくなったと結んでいます。

日本でも同じ理由なのでしょうか。

R Iが退会者1万3,161名に日本語でアンケート調査をしました。昨年10月から11月の1ヵ月として、現在も統計調査中です。正式の解答はまだないのですが、日本と韓国では、相当異なるのではないかと予想されます。

地区会員増強委員会議など増強セミナーで、主な問題点が指摘されています。

①会員増強しようという意識が薄い

クラブ会長を中心に増強に真剣に取り組む必要がある。

②ロータリアンとしてのステータスが変わってきた

名士とか金持ちとかいったステータスと呼ばれるものは時代に適さないのではないか。ロータリアンがこれを容認すべきではないか。職業倫理をしっかりと実践し、地域社会のために少しでも奉仕活動をしたいという人の集まりであるべきである。

③クラブの活性化につながる会員増強を行う

会員会費未納を認めず、35歳以下の会員の会費一部免除等、クラブ内問題。

若い方や女性会員の入会を考える。

(ゾーン 資料から)

会員数は最近では5年前がピークで121万3,748名でした。それが年に約1万名減少を続け、現在では117万432名です。そこでキングR I会長は「グローバル・クエスト・キャンペーン」を強く訴え、結果6万名の増強が得られました。

世界はキャンペーンで増えたのですが、日本では1996年以来ずっと減少を続けているのが実情です。

ロータリー特別月間 (2002 VOL.50 NO.12 ロータリーの友より)

8月 会員増強及び拡大月間 (Membership and Extension Month)

会員増強には、内部拡大、外部拡大の二つがあります。内部拡大は、クラブの区域内で得られている適格な職業分類の代表者に入会してもらい、クラブの会員数を増やすことです。

クラブの拡大は、会員数増加の牽引車的役割を担っています。前年度に引き続き、今年度、ラタクルR I会長は、ロータリーの100周年の2005年までに150万人の会員を、という目標に向けて尽力するよう奨励、また、それぞれのクラブや地域社会に献身できる質の高い会員が重要である、と強調しています。